

CULTURE

INDONESIA

インドネシアの祭り

INDONESIAN CULTURAL FESTIVAL

INDONESIAN CULTURAL FESTIVAL



ディエン カルチャー フェスティバル

ディエン・カルチャー・フェスティバルは、中部ジャワ州バンジャルネガラ県ディエン高原で毎年開催されているカルチャー・フェスティバルの一つだ。このフェスティバルは、地域文化の要素、自然観光の可能性、地域コミュニティのエンパワーメントの相乗効果というコンセプトを掲げたカルチャー・フェスティバルだ。ディエン・カルチャー・フェスティバルは、ディエン観光啓発グループが、エクアトル・シネルギ・インドネシアとディエンエコツーリズムの協力を得て、2010年から開催されるようになった。当初、ディエン・カルチャー・フェスティバルは「ディエン文化週間」として知られていたが、3年目を迎えたときに、地域社会の主導で「ディエン・カルチャー・フェスティバル」に変更された。

ディエン・カルチャー・フェスティバルは、地元の観光客に限らず、外国人観光客にも注目されている。このフェスティバルは、参加する観光客にディエンの文化や自然を紹介するだけでなく、コミュニティが観光の重要性を理解することを目的としている。

ディエン・カルチャー・フェスティバルの一連のイベントには、それぞれの魅力がある。フェスティバル自体のハイライトは、ドレッドロックカットセレモニー。この儀式は、不運や災難を取り除くことを目的として行われるものだ。この儀式は、生後40日から6歳までの、自然にドレッドヘアになった子どもたちに行われる。さらに、このフェスティバルでは、アートパフォーマンス、文化カーニバル、ジャズ音楽演奏（Jazz Atas Awan）、ランタンフェスティバルなど、さまざまなサポートイベントも開催される。



Figure 1 ドレッドロックカットセレモニー

<https://travel.kompas.com/read/2023/02/07/200047227/dieng-culture-festival-2023-akan-digelar-25-27-agustus-2023>



Figure 2 ランタンフェスティバル

<https://www.beautynesia.id/life/jangan-kelewat-dieng-culture-festivals-2022-siap-digelar-2-4-september-mendatang/b-261328>

ディエン・カルチャー・フェスティバルは、すべてのコミュニティに観光の可能性と文化芸術を紹介する手段となることが期待されている。さらに、このフェスティバルは、コミュニティの経済レベルを向上させる新しい分野でもある。(プトゥリ・メガ・アスマラニ)



Figure 3 Jazz Atas Awan

<https://phinemo.com/potret-kemeriahan-jazz-atas-awan-dieng-culture-festival-2018/>

オゴオゴ

オゴオゴというのは、人間の醜さ、宇宙のネガティブさを象徴する彫刻だ。オゴオゴは Bhuta Kala と呼ばれるヒンドゥー教のキャラクターを表している。

バリ語のオゴオゴは、「感動する」という意味のオゴオゴに由来している。以前は竹のフレームに紙を張ったものだった。現在では、より滑らかな立体的な形状が得られることから、ほとんどのオゴオゴが発泡スチロールで作られている。

ニュピの日の前夜、オゴオゴはコミュニティによって村の中を練り歩くことになる。オゴオゴの行列には、「Bleganjur」と呼ばれるバリのガムランが伴奏として登場する。そして、パレードを終えたオゴオゴは、人間や地域のあらゆる醜さをなくすことを目的に、燃やされるのだ。

実は、オゴオゴは「ニュピの日」のお祝いとは直接の関係はないのだ。そのため、翌日にニュピの日の礼拝を行うヒンドゥー教徒は、快適に落ち着いて過ごすことができる。

(ローシタ・アウリア・アルディア・モダナ)



写真：オゴオゴの祭り

フランシスカ・アフィラ・バーバラ個人文書

Festival Pasar Terapung

Festival Pasar Terapung はバンジャルマシンで毎年開催される文化祭の一つである。この祭りは観光客に地元の文化を紹介する。

Pasar terapungは、ボートやいかだを使って川で取引するバンジャルマシンの人々の伝統である。お祭りのとき、このpasar terapungは、美しい装飾が施され、さらに賑やかになる。舞台 芸術や伝統音楽などのさまざまなエンターテインメントイベントもある。このほかにも、たくさんのコンテストが開催されている。その一つがボートの装飾コンテストである。

Festival Pasar Terapung は 2005 年に初めて開催された。目的は、バンジャルマシンの観光アイコンとしてpasar terapungの独自性を促進することである。以来、このお祭りは毎年開催されている。

観光客は川でボートやいかだを使って貿易活動を直接見ることができる。川沿いでさまざまな おいしい本格的な料理を食べることもできる

これらのさまざまな魅力を備えた、Festival Pasar Terapungは興味深い観光イベントで、観光客に異なる体験を提供する。(ファティマ)



伝統的な洋服を着てパフォーマンスをした。

<http://hasanzainuddin.wordpress.com/festival-pasar-terapung/>

グレーベグ マウルド

グレーベグはジャワ語の「ブレベグ」または「グメレベグ」に由来しており、観客の歓声によって引き起こされる騒音を意味する。さらに、グレーベグの伝統は、繁栄と幸福の象徴として、野菜、豆、赤唐辛子、卵、一部の米ベースの食品などで構成される「グヌンガン」の存在と同義でもある。

グレーベグ・マウルドの伝統は、ジョグジャカルタのクラトン・スルタン国で行われる預言者ムハンマド S.A.W の誕生日のお祝い、または一般に預言者の誕生日のお祝いとして知られているものの集大成である。

ジョグジャカルタ特別州文化局のウェブサイトによると、ジョグジャカルタ・スルタン宮殿で行われる一連の預言者誕生日イベントは、セカテンの儀式で幕を開ける予定である。セカテンの儀式はムルード月（Rabiul Awal）の5日に始まり、ムルード月（Rabiul Awal）の11日の真夜中まで7日間続く。

グレーベグ・マウルドはムルード月の12日（ラビウル・アワル）に開催され、07.30 WIBから始まる。

祭りは、それぞれの制服を着た宮殿の衛兵（ブレガダ）のパレードで始まります。彼らはクラトンからシチングギルを越えてケマンドゥンガンの北の中庭からパレードし、北の広場にあるパジェラランに向かう。

5つのグヌンガンはゲデ・カウマン・モスクに運ばれ、残りの2つはケパティハンとパクアラマン寺院に運ばれる、祈りが捧げられた後、一般の人々によって争奪される。その場にいる人々は、それはウバランペには超自然的な力があると信じるため、グヌンガンの一部を取ろうと躍起になる。

(ナビラ・ファイサル)



ブルガダはグヌンガンをもたらす。

Shutterstock/aditya_frzhm

Lompat Batu

伝統

北スマトラ州のニアス族が行っている石跳びの伝統「hombo」「fahombo」。この伝統は男性によってのみ行われる。この伝統は、北スマトラ州南ニアス県バオマタルオ村で見ることができる。

バウォマタルオとは、ニアス語で太陽の丘という意味だ。海拔 324 メートルの丘の上にあることから、この村が名づけられた。村は何世紀も前に建てられたものだ。「Lompat batu」の伝統は、通常、若い男性が 2 メートルの高さの石の山を飛び越え、肉体的に成熟しているとみなされることを示すために行われる。

もともと石跳びの伝統は、ニアス島の部族の村々で行われていた戦いの習慣に由来している。ニアス島の人々は、戦士の文化から受け継いだ硬く強い性格を持っている。そこで、石跳びの伝統が生まれ、戦争の準備として行われるようになったのだ。高さ 2 メートルの岩を、表面に触れることなく飛び越えることができなければならない。

子供がファホンボに成功した家庭では、家畜を屠殺することで宴会を開く。ニアス文化の石跳び伝統今日、部族間や村落間の戦争に備えるためではなく、ニアス人の儀式と文化の象徴として行われている。(ウィンディ・ナビラ・プトゥリ)



石跳びをするニアスの若者たち

<https://sumutpos.jawapos.com/daerah/23/09/2017/silakan-eksplor-nias-ada-pesta-yaahowu-23-26-november-2017/>